

4. (研究の点検・評価) 農学研究は、研究の方法や成果について常に自己点検を行い、また適切な第三者の評価を受け、その結果を研究目標の達成に反映させるとともに、成果を適正に社会に還元する。

＜農学の社会貢献＞

1. (社会貢献の目標) 農学の社会貢献の目標は、地域、社会、民族、人種、国籍等のあらゆる境界を超えた人類普遍の真理を追求し、全人類の生存と福祉に貢献できるよう、不偏・平等の原則に立つこととする。

2. (地域社会への貢献) 農学は、地域の農林水産業の振興を図るとともに、自然環境の保全・修復に関する教育研究を通じて、地域社会に貢献する。

3. (国際社会への貢献) 農学は、グローバル化した食料や環境問題解決のため、世界各国の学生および教育・研究者と交流を深め、相互理解に基づく国際的視野に立った教育研究を推進することにより、国際社会に貢献する。

問1. 独自の存在基盤を有する農学部でこれからあなたはどのような姿勢で学んでいこうとしていますか？憲章ができた具体的な背景を洞察し、上の文章から特に着目する単語又は文節を3つ選び、それらに基づいて考えを述べよ。(配点60)

問2. 本学科は「生物機能の開発・利用」を通じて食料問題や環境問題の解決に寄与することを目指しているが、これに関連した「近未来を拓く先端的研究」または「遠未来的な独創的研究」としてあなたが取り組みたい課題を挙げ、その基盤となる知識・技術について知るところを記せ。また成果の社会貢献について述べよ。(配点40)